

魅力あふれる地域

住んでよかった北播磨

北播磨では、他地域からの移住、定住を後押しするため、地域の魅力発信や移住をテーマにしたイベントの開催などに取り組んでいます。これからも移住者を受け入れ、移住者とともに北播磨の活性化を促進します。

詳細はこちらへ



北播磨地域の移住希望者向け情報



県全体の移住希望者向け情報

移住希望者に向けた地域情報を発信中

コロナ禍でも移住のニーズに応えられるようオンラインでの相談や、北播磨地域に住む先輩移住者から、移住に役立つ体験談を聞くことができるオンライン交流会の開催など、全国各地から

の相談に対応中です。また、相談者には、定期的に移住に関する情報や北播磨地域でのさまざまなイベントを紹介し、地域をより身近に感じられるメールマガジンを定期的に配信しています。

☎ 北播磨県民局県民・商工観光課 ☎0795(42)9350 ☎0795(42)7535

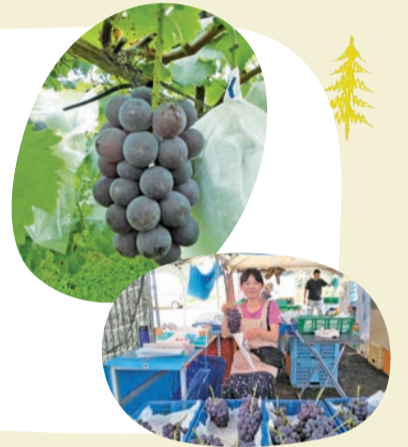
移住者が語る北播磨の魅力



やの えいこ 矢野 英子さん

震災を機に北播磨でブドウ栽培

阪神・淡路大震災で被災し、神戸市から加西市へ移住。以前から興味があったブドウ栽培を始めました。加西市は、先進農家での研修制度や、初期投資に係る補助制度などがあり、就農しやすい地域です。自然災害に遭うこともありますが、周りの農家の方の励ましもあり、なんとか乗り越えてきました。そのおかげで、現在は加西市ぶどう部会長のを務めています。今度は私がブドウ栽培を希望する人の相談に乗ったり、アドバイスしたりして、産地の維持発展を目指したいです。



シェアハウスでの週末滞在も移住のきっかけにしてほしい

元々六甲山でシェアハウスを運営していて、「自然×コミュニティ」に関心を持っていました。神戸から1時間以内で行ける古民家物件を探す中で、築100年以上の里山付き古民家に出合い、平成29年に家族で移住して、加東市でシェアハウスを運営しています。自然豊かな一方、都市部からのアクセスがほどほどに良く、不便過ぎない田舎といった印象です。山では山菜などの旬の味覚が採れ、自然の恵みの「循環」を感じる暮らしを送っています。そして、地域の人たちの親しみやすさも大きな魅力です。今後は、移住を検討している人たちと加東市を結ぶ橋渡しのような役割も果たしていきたいです。



うしかい ゆうた 牛飼 勇太さん

インフォメーション イベント等は延期・中止の場合があります

フラワーセンターからのお知らせ

ひなまつりフェア 2月5日①~3月6日② 県立フラワーセンター 一般500円、70歳以上250円(高校生以下無料) ☎同センター ☎0790(47)1182 ☎0790(47)1561

県立考古博物館加西分館「古代鏡展示館」からのお知らせ

秋季企画展「象嵌-象る/嵌める-」 古代中国で作られた金銀などの金属や貴石をはめこんだ象嵌作品の展示 3月13日③まで 講演会「百花繚乱-陶酔と貴顕の鏡-」 中学生以上 2月26日④13時30分~15時 20人(先着) 1月29日⑤から電話で受け付け イベント「クイズに正解して、古代鏡缶バッジをつくろうよ!」 2月6日⑥、13日⑥、20日⑥、27日⑥13時30分~15時 いずれも 同館加西分館「古代鏡展示館」 観覧料100円(高校生以下無料) ※講演会のみは無料。別途県立フラワーセンター入園料が必要 ☎同館 ☎0790(47)2212 ☎0790(47)2213

令和4年度ひょうごラジオカレッジ受講生募集

毎週土曜朝7時から30分間、ラジオ関西で放送する講座を聴き、はがきやメールなどで感想文を提出して1年間学習します。テキストは毎月郵送します ※ラジオ講座の学習に意欲のある人 年間6,000円(テキスト代など) 4月8日⑦(消印有効)までに各市町の公的施設、またはホームページにある所定の申込用紙を郵送でひょうごラジオカレッジ事務局 〒675-0188 加古川市平岡町新在家902-3へ ☎079(424)3343 ☎079(424)3475

ひょうごラジオカレッジ

掛け金(年額)5,000円で最大600万円の給付

フェニックス共済の出前加入受け付け・相談

12月14日⑧ 2月15日⑨ 3月16日⑩ 10時~15時(正午から13時を除く) ⑧ 加東市役所1階ロビー ⑨ 西脇市市民交流施設1階つながるスタジオ ⑩ 西脇市茜が丘複合施設みらいえ1階ビューループ ☎北播磨県民局総務防災課フェニックス共済担当 ☎0795(42)9309 ☎0795(43)0169

